



中央大学大学院

2025年度

特別選考入学試験要項(夏季)

(4月実施)

法 学 研 究 科	博士前期課程
経 済 学 研 究 科	博士前期課程
商 学 研 究 科	博士前期課程
文 学 研 究 科	博士前期課程
総合政策研究科	博士前期課程

行動する知性。



【注意事項】

試験の実施に関して、変更を行う場合がありますので予めご了承ください。変更がある場合には、本学ウェブサイト内の大学院入試のページ(<https://www.chuo-u.ac.jp/admission/gschool/>)にてお知らせいたしますので、受験予定の方はこまめに情報の確認をお願いいたします。

— 目 次 —

I 入学者選抜の方針(アドミッション・ポリシー)	1
II 学生定員	6
III 入学試験・出願資格・出願書類	
1. 法学研究科	7
2. 経済学研究科	9
3. 商学研究科	11
4. 文学研究科	12
5. 総合政策研究科	13
IV 出願書類の準備・作成上の注意	
1. 志願票の記入について	14
2. 写真票の記入について	15
3. 卒業・終了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書について	15
4. 外国語能力(英語等)に関する証明書類について	15
5. 志願者調書について	15
6. その他	15
V 入学検定料の納入について	16
VI 出願	
1. 出願書類の送付方法	21
2. 個人情報の取り扱い	21
3. 受験および就学上の配慮について	21
VII 受験	
1. 受験票について	22
2. 試験の実施について	22
3. 口述試験について	22
VIII 合格発表と入学手続	
1. 合格発表	24
2. 入学手続	24
IX 学費	26
X 奨学金等	27
XI Q&A(よくある質問)	28
XII 交通アクセス	29

I 入学者選抜の方針(アドミッション・ポリシー)

法学研究科

< 法学研究科の求める人材 >

法学研究科では、グローバル化した現代社会のなかで、各専攻分野における高い研究能力と広く豊かな学識を修得する教育研究を行うことにより、各専攻分野における教育研究活動に従事する人材や、高度の専門性を必要とする業務を遂行することとなる人材を養成することを目的としています。この目的を達成するため、次のような学生の入学を求めています。

【博士前期課程】

- ・学部授業などを通して、より専門的なテーマについて探求したいと思うようになった人
 - ・法学・政治学における各専攻分野の基礎となる専門知識をもつ人
 - ・専門分野に関する外国語文献の読解能力を有する人
 - ・より論理的・批判的な思考能力を養成したいという学習意欲のある人
 - ・実証的研究に関心を有し、その研究能力を涵養したいと考える人
 - ・仕事などを通して、法学・政治学及びその関連諸分野に関する専門的なテーマについて探求したい人
- 以上にに基づき、次のような知識・能力等を備えた学生を多様な選抜方法によって受け入れます。
- ・各専攻分野の基礎的専門知識を有するとともに、専門的な外国語文献を読み進めることのできる意欲と能力を有している。
 - ・論理的な思考力、及び分析結果や自己の見解を適切に言いあらわすことのできる表現力を有している。

【博士後期課程】

- ・博士前期課程で身につけた基礎的研究能力と専門知識を発展させ、自立して研究を行うことができる人
 - ・諸外国の主要な先行研究や重要図書及び一次資料等にも関心をもち、洞察力と分析力を有している人
 - ・隣接分野における専門知識の基礎的部分と論理構造にも関心をもって理解しようとする人
 - ・実証的研究により社会問題の構造分析を行いたいと考える人
 - ・社会(グローバル社会や国際学会を含む)への学術上・実務上の発信力を高めようとする意欲のある人
- 以上にに基づき、次のような知識・能力等を備えた学生を多様な選抜方法によって受け入れます。
- ・各専攻分野において自立して研究を行うことのできる高度の専門的知識と論理的思考力を有するとともに、専門的な外国語文献を苦にせず読み進めることのできる能力を有している。
 - ・各専攻分野において直面する研究課題について、自己の見解を学説として提示しようとする意欲と構想力を有している。

< 入学前に修得しておくことが望まれる学修内容・学力水準 >

【博士前期課程】

- ・自らの興味・関心を明確にすることが大切です。そして、その明確となった興味・関心に基づき、研究課題を設定する必要があります。
- ・研究課題を追究するにあたっては、研究課題に関する基礎的な知識とその研究課題の専門分野における論理的な思考能力を、身につけておくことが必要です。
- ・そのために、研究課題に関して基本的書籍・論文を読み、少なくとも自らの疑問点や不明点を明らかにできる水準に達していることが必要です。
- ・法律系専攻では、重要判例を理解している必要があります。
- ・諸外国との比較研究を行うことから、辞書を使用しながらも専門分野の基礎的な外国語文献を読むことができる外国語能力を求めます。
- ・研究課題に隣接する専門分野に関しても、広く豊かな興味・関心を有していることが望ましいです。広く豊かな興味・関心は、将来、自らの研究課題についてより高度で深化した研究成果を上げることに寄与します。

【博士後期課程】

- ・独力で研究を行うための基礎的な研究能力と専門知識があることが必要です。
- ・自己の知識や研究がいかなる水準に達しているかについて、みずから検証する必要があります。
- ・そのために、重要な先行研究の成果等のみずから確認し、また諸外国の主要な先行研究に関わる基本的文献や一次資料などにも関心をもって取り組むことが重要です。
- ・追究する専門分野に隣接する分野の専門的知識についても、その基礎的部分や論理構造を理解している必要があります。

経済学研究科

<経済学研究科の求める人材について>

経済学研究科では経済学及びその関連分野に関する理論研究並びに諸現象にかかる高度な実証分析を行い、高い研究能力と広く豊かな学識を有し、専攻分野における教育研究活動を遂行できる人材、その他の高度な専門性を必要とする業務を遂行できる高度職業人材のそれぞれを養成することを教育の目標として掲げています。この目標を達成するため、次のような学生を求めています。

<博士前期課程>

学位：修士（経済学）

博士前期課程は、経済学研究科が養成する人材像として掲げる「研究者」「高度専門職業人」として社会で活躍するために必要とされる能力を、進路別に区分けしたコースにおいて体系的に身につけることを目的とし、「研究者コース」「高度職業人コース」「税理士コース」を設置しています。それぞれのコースでは以下のような学生を求めます。

なお、すべてのコース共通で「研究遂行にあたり必要となる基盤的能力」、「経済学に関連する基礎的知識」を修得することができる能力を有している学生を求めます。

○研究者コース

経済学とその関連する分野の広い基礎的知識を確実に修得し、そのうえで自己の探求する研究分野における研究手法に立脚した研究成果を具現化し、学術的に貢献する論文にまとめ上げることができる能力を有している人。

○高度職業人コース

経済学とその関連する分野の広い基礎的知識のみならず、自身の専攻分野に限定せず日本および世界の経済をあらゆる視点から考察することができ、獲得した能力を公務員や一般企業の職業人としても実践的に応用できる能力を有している人。

○税理士コース

税理士として社会で活躍することができる税法および経済学に関連する幅広い知識を修得し、自身の研究成果を論文として独創的かつ適切にまとめ、社会に発信することができる能力を有している人。

<博士後期課程>

学位：「博士（経済学）」「博士（会計学）」「博士（経営学）」

（以下、全ての学位に共通）

経済学全般の基礎知識を有している人。

研究テーマに関わる国内外の先行研究を的確にサーベイできる基礎学力と専門知識を有している人。

先行研究を超えた新たな知見を加える洞察力と分析力を有している人。

社会全般への学術的発信力を有している人。

以上に基づき、次のような知識・能力を備えた学生を多様な選抜方法によって、受け入れます。

<博士前期課程>

学位：修士（経済学）

○研究者コース

マクロ経済学、ミクロ経済学、マルクス経済学、統計学・計量経済学について一定の基礎知識を有している。（知識・技能）

研究分野を探求するための適切な手法を論理的に導くことができる思考力を有している。（思考力・判断力・表現力）

自身が考えを他者にわかりやすく伝える表現力を有している。（思考力・判断力・表現力）

○高度職業人コース

マクロ経済学、ミクロ経済学、マルクス経済学、統計学・計量経済学について一定の基礎知識を有している。（知識・技能）

研究分野をあらゆる視点から考察し、適切な手法を実践的に応用できる思考力を有している。（思考力・判断力・表現力）

自身が考えを他者にわかりやすく伝える表現力を有している。（思考力・判断力・表現力）

○税理士コース

マクロ経済学、ミクロ経済学、マルクス経済学、統計学・計量経済学、税法について一定の基礎知識を有している。（知識・技能）
 研究分野を探究するための適切な手法を論理的に導くことができる思考力を有している。（思考力・判断力・表現力）
 自身が考えを他者にわかりやすく伝える表現力を有している。（思考力・判断力・表現力）

< 博士後期課程 >

学位：「博士（経済学）」「博士（会計学）」「博士（経営学）」

（以下、全ての学位に共通）

経済学全般の基礎知識を有している。（知識・技能）

指導教授のみならず、様々な人間からの知識習得に努める受容性を有している。（主体性・協働性）

自ら国内外の研究会・学会等に参加し、他の研究者との研鑽に励む積極性を有している。（主体性・協働性）

自身の導き出した研究成果を広く一般の者にも分かりやすく伝える表現力を有している。（思考力・判断力・表現力）

商学研究科

< 商学研究科の求める人材 >

商学研究科では、経営学、会計学、商業学、経済学、および金融学の 5 つの専攻分野において、高い研究能力と広く豊かな学識を有する研究者や優れた見識と高度の専門性を備えた実務家を養成することを目的としています。この目的を達成するため、次のような学生を求めています。

○博士前期課程・研究コース

- ・経営学、会計学、商業学、経済学、金融学などの学問分野に関する、専門的な研究を志す人
- ・企業経営の伝統的な研究分野の境界を越えた新しい研究を志す人
- ・経営学、会計学、商業学、経済学、金融学など企業経営の各分野において企業経営に必要な専門的資格の取得を志向する人
- ・実務キャリアを土台に、高度な知識や理論・方法を習得して、より専門的なキャリアに挑戦しようとする人

○博士前期課程・ビジネスコース

- ・現代企業が直面する課題に応える、実践的な問題関心に基づく研究を志向する人
- ・学部教育の基礎のうえに研究能力と実務的知識をバランスよく獲得したい人
- ・経営学、会計学、商業学、経済学、金融学などの各分野において企業経営に必要な資格の取得を志向する人
- ・実務キャリアを土台に、幅広い知識や理論・方法を習得して、キャリアの幅を広げようとする人

○博士後期課程

- ・博士前期課程での研究を基礎として、より一層独創的な研究を志す人
- ・現代社会の課題に応えるべく、より一層実践的な研究を志す人
- ・実務キャリアや博士前期課程で培った経営学、会計学、商業学、経済学、金融学の高度な知識や理論・方法を土台に、専門的キャリアに挑戦し、あるいはキャリアの幅を広げようとする人

< 入学前に修得しておくことが望まれる学修内容・学力水準等 >

○博士前期課程（「研究者コース」「ビジネスコース」共通）

- ・専攻を希望する分野に関する確実な基礎知識（知識・技能）
- ・専門分野の論文を理解するのに必要な外国語能力（知識・技能）
- ・確実な日本語の運用能力（知識・技能）
- ・論文を書くための論理的思考力（思考力・判断力・表現力）
- ・新たなテーマを発見し、その課題の解決方法を見出す能力（思考力・判断力・表現力）

○博士後期課程

- ・専門分野（経営学、会計学、商業学、経済学、金融学）の先行研究についての理解（知識・技能）
- ・専門分野（経営学、会計学、商業学、経済学、金融学）についての研究をすすめるうえで必要な外国語能力（知識・技能）
- ・高度な学術論文を書くための論理的思考力（思考力・判断力・表現力）
- ・独創的なテーマを発見し、その課題の解決方法を見出す能力（思考力・判断力・表現力）

文学研究科

<文学研究科の求める人材像>

文学研究科では、人間の存在、人間の内面、社会、歴史などを研究対象に、現実的事象、テキストおよびデータを中心に考察する人文主義的理念に立って、グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養と実践力を身につけた人材を養成することを目標としています。

この理念と目標の実現に向けて、博士前期課程では、主に次のような入学者を期待します。

- ・人間や社会の諸問題に関心を持ち、その解決を考えようとする人。
- ・専門的な研究を推進するに足る教養とコミュニケーション能力を身につけようとする人。
- ・現代社会や人間が直面している諸問題に対処できる専門知識・技能を備えようとする人。
- ・地域社会の諸問題に関心を持ち、地域社会に貢献することを志す人。
- ・実社会において自らの能力を高め、キャリアアップやキャリアチェンジを志す人。

博士後期課程では主に次のような入学者を期待します。

- ・人間や社会の諸問題に関心を持ち、豊かな未来を切り開くために、より専門的な研究を志す人。
- ・専門的な研究を推進するに足る教養とコミュニケーション能力を身につけて、国際社会での活躍を志す人。
- ・現代社会や人間が直面している諸問題に対処できる高度な専門知識・技能を備え、それを活かす職業を志す人。
- ・地域社会の諸問題に関心を持ち、その課題解決を通して、地域社会に高度な貢献をすることを志す人。
- ・実社会において自らの能力を高め、さらに社会に高度な貢献をするために、キャリアアップやキャリアチェンジを志す人。

以上に基づき、次のような知識・能力を備えた学生を多様な選抜方法によって受け入れます。

○博士前期課程

- ・語学力
専門分野の基本文献を正確に読み取る日本語能力および外国語知識を有している。
- ・論理能力
自らの見解を正確に理路整然と表現し、第三者に伝達することができる論理能力を有している。
- ・計画性
所定の期間内に研究を進め、論文等を完成できる実現可能な研究計画を立て、それを遂行する知識を有している。

○博士後期課程

- ・語学力
専門分野の基本文献を正確に読み取る日本語能力および外国語能力を有している。
- ・論理能力
自らの見解を正確に理路整然と表現し、第三者に伝達することができる論理能力を有している。
- ・計画性
所定の期間内に研究を進め、論文等を完成できる実現可能な研究計画を立て、それを遂行することができる。
- ・構想力
研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会に新しい知見を加えていくことができる。

以上のような学力・能力に加え、自身の専門への関心や興味、そして学習意欲を持っており、さらに自らの研究が果たす社会への貢献、言い換えると、自らの専門分野の社会における位置づけを意識していることが望まれます。このような学力・能力を、筆記試験、卒業論文、研究計画書、面接などによって判定します。

総合政策研究科

<総合政策研究科の求める人材>

総合政策研究科では、現代社会における政策に関する理論および諸現象にかかわる高度な教育研究を行うことにより、「政策分析能力に優れ、異文化を理解できる人材」を養成することを目的としています。この目的を達成するため、以下のような力をもった学生を受け入れません。

○博士前期課程

- ・社会の問題について、広く興味を有している。
- ・それらの諸問題の解決策を追究することを欲している。
- ・多角的なアプローチにより、既存のディシプリンを刷新しうる柔軟な思考力と幅広い視野を有している。
- ・論理的思考力に優れている。

○博士後期課程

- ・国際的視野で人間や人間の歴史に興味を持ち、様々な事象について深くまで解明する意思を有している。
- ・複雑化した社会問題について広く興味を有し、それらの解決方策について深く研究する意思を有している。
- ・広く豊かな学識と多角的なアプローチを融合させ、既存のディシプリンを刷新する政策提言を行うことができる。
- ・高度な専門知識または豊富な実務経験に基づく問題解決思考を有している。
- ・論理的思考力と学際的な政策分析能力に優れている。

以上に基づき、以下のような知識・能力を備えた者を多様な選抜方法によって受け入れます。

○博士前期課程

- ・多角的アプローチを可能にする柔軟な思考力と問題発見能力(知識・技能)
- ・論理的思考に基づく分析・総合力(思考力・判断力・表現力)
- ・人間と人間の歴史に対する深い洞察力と高潔な倫理観、社会への献身性(主体性・多様性・協働性)
- ・国際的協働を可能にする多元価値の受容性(主体性・多様性・協働性)
- ・言語運用能力に基づくコミュニケーション能力、ファシリテーション能力(主体性・多様性・協働性)

○博士後期課程

- ・博士後期課程における高水準な研究を可能にする、多分野にわたる高度な専門知と、それに根差した創造的思考力と問題発見・解決能力(知識・技能)
- ・人間と人間の歴史に対する深い洞察力と高潔な倫理観、社会への献身性(主体性・多様性・協働性)
- ・国際的協働を可能にする多元価値の受容性(主体性・多様性・協働性)
- ・博士後期課程における高水準な研究を可能にする言語運用能力とそれに基づくコミュニケーション能力、ファシリテーション能力(主体性・多様性・協働性)

Ⅱ 学生定員

単位:人

研究科	専攻	博士前期課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
法学	公法	8	16	3	9
	民事法	20	40	7	21
	刑事法	10	20	5	15
	国際企業関係法	20	40	10	30
	政治学	15	30	3	9
	計	73	146	28	84
経済学	経済学	50	100	10	30
商学	商学	25	50	5	15
文学	国文学	10	20	5	15
	英文学	10	20	5	15
	独文学	5	10	3	9
	仏文学	5	10	3	9
	中国言語文化	5	10	3	9
	日本史学	7	14	5	15
	東洋史学	5	10	3	9
	西洋史学	5	10	3	9
	哲学	5	10	3	9
	社会学	5	10	3	9
	社会情報学	5	10	3	9
	教育学	5	10	3	9
	心理学	8	16	4	12
	計	80	160	46	138
総合政策	総合政策	40	80	10	30
合計		268	536	99	297

Ⅲ 入学試験・出願資格・出願書類

1. 法学研究科

(1) 募集および入試日程

【博士前期課程】

専攻	募集人員	出願期間	筆答試験	口述試験	最終合格発表
公法 民法 刑法 国際企業関係法	35 人 以内	4月3日(水) ～ 4月4日(木)	— ※夏季入試では、所定の外国語能力試験 スコア取得者のみ出願資格ができ、外国 語科目の筆答試験は実施しません。 ※専門科目の筆頭科目は実施しません。	4月19日(金) ※予備日4月18日 (木)	4月24日(水)
政治学	8 人 以内				

※志願状況等により、口述試験の実施日が予備日になることがあります。

(2) 選考方法および選考基準

書類審査および口述試験を行う。それぞれの結果を総合的に勘案して判定します。

(3) 外国語能力を証明する書類の提出

専攻が定める外国語について、出願時に下表の外国語能力証明(出願時より3年以内の受験・取得有効)が得られている場合に限り、受験ができます。ただし、母語を除きます。

外国語	外国語能力
英語 ※全専攻可	TOEFL iBT 72 点以上、TOEFL PBT 530 点以上、TOEIC Listening & Reading Test 785 点以上(TOEIC Speaking & Writing Test を除く)、英検(実用英語技能検定試験)準1級以上、IELTS(アカデミック・モジュールに限る) 5.5 以上、国連英検(国際連合公用語英語検定試験)A級以上
ドイツ語 ※全専攻可	独検(ドイツ語技能検定試験)準1級以上、Stufen der Pruefungen und Sprachkurse des Goethe-Institut, Mittelstufe Zertifikat Deutsch fuer den Beruf (欧州評議会レベル 標記 B2 修了以上) 又は DSH-Vorbereitungskurs fuer Fortgeschrittene des Goethe-Institut 修了
フランス語 ※全専攻可	TEF(フランス語能力認定試験)541 点以上、仏検(実用フランス語技能検定試験)準1級以上
中国語 ※国際企業関係法専攻以外可	中検(中国語検定試験)2級以上、HSK(漢語水平考査) 4級以上

※TOEFL iBT Special Home Edition のスコアは不可。

※出願の際は、必ず証明書原本(コピー不可)を提出すること。ただし、TOEIC に限り、2023 年度以降に実施された試験については、公式スコア(公式認定証)の原本(コピー不可)またはオンライン上のデジタル公式認定証を印刷したものを提出すること

(4) 出願資格

A. 本学学部の卒業見込み(早期卒業予定を含む)の者で、通算GPA2.8 以上の者。

ただし、本学法学部通信教育課程を卒業見込みの者は、後掲のGPA計算式に基づき算出されたGPAとする。

【GPA計算式について(本学法学部通信教育課程卒業見込の者)】

●次のとおり5段階評価を取り扱います。

	①	②	③	④	⑤
2021 年度以前入学生の成績評価	A	B	C	D	E(不合格)
2022 年度以降入学生の成績評価	S	A	B	C	E(不合格)

●GPA 計算式: $[4 \times (\text{①の修得単位数}) + 3 \times (\text{②の修得単位数}) + 2 \times (\text{③の修得単位数}) + 1 \times (\text{④の修得単位数})] / \text{総修得単位数}$

※ここでいう修得単位とは、卒業要件に含まれる単位であって、認定された科目や随意科目の単位は除く。

※不合格科目は、上記の計算式に含まないものとする。

※出願時に取得できる最新の成績評価に基づき算出するものとする。

(5) 出願書類

- ①特別選考入学試験 志願票および写真票(所定様式1、2)
- ②成績証明書
- ③出願理由書(所定様式4 A4用紙1枚程度で作成)※4部提出
- ④入学後の専攻分野に関する研究計画書(所定様式3 A4用紙3枚程度で作成)※4部提出
- ⑤[外国籍の者のみ]志願者調書(所定様式8-①②③)
- ⑥外国語の能力を証明する書類(前掲(3)を参照)

(6) 学部学生の大学院授業科目履修について

法学研究科では、本学学部の在学学生で、本研究科への進学を志望する特に優秀な者について、その能力の高度な発展を期し、早期に大学院教育に接する機会を提供するため、教育上の特別措置として大学院授業科目の履修を認めています。本制度についての詳細は、大学院事務室までお問い合わせください。

2. 経済学研究科

(1) 募集および入試日程

【博士前期課程】

専攻	コース	募集人員	出願期間	口述試験	最終合格発表
経済学	研究者	若干人	4月3日(水)～4月4日(木)	4月17日(水)	4月22日(月)
	税理士				
	高度職業人				

※志願状況等により、変更が生じる場合があります。

(2) 選考方法および選考基準

提出された出願書類に基づく書類審査および口述試験の結果を総合的に勘案して判定します。

(3) 出願資格

A. 本学学部の4年次に在籍する卒業見込みの学生(編入学生を含む)で次の条件のいずれかを満たす者

- ①3年次終了時のGPAが 2.8 以上の者(編入学生は3年次終了時のGPAが 3.0 以上)。但し、認定留学生または交換留学生として留学したため5年次以上に在籍する者は、帰国日から1年以内に限り出願を認める。
- ②特定非営利活動法人日本経済学教育協会が実施する経済学検定試験(ERE試験、EREマイクロ・マクロ試験)のランクが A 以上の者。但し、出願締切日より2年以内の取得であること。
- ③以下の税理士試験の試験科目のうちいずれか1科目に合格していること。

(会計学に属する科目)簿記論、財務諸表論、(税法に属する科目)所得税法、法人税法、相続税法、消費税法、酒税法、国税徴収法、住民税、事業税、固定資産税

B. 本学学部早期卒業制度利用の3年次生

※Aの出願資格を満たす者で、5年次以上に在籍する者のうち、やむを得ない理由により休学期間を含む者については出願を認めることがあります。出願期間前に大学院事務室へ問い合わせてください。

(4) 出願書類

①特別選考入学試験 志願票および写真票(所定様式1、2)

②成績証明書

③[研究者コース・税理士コースに出願する者]

研究計画書(所定様式3 1,000字から2,000字程度、英語の場合は800ワード程度)※2部提出

日本語または英語で次の内容を中心にまとめてください。1.研究テーマ 2.研究の動機 3.現時点での研究計画 4.研究テーマと関連させた将来の希望 5.主要な参考文献

④[高度職業人コースに出願する者]

出願理由書(所定様式4 1,000字から2,000字程度、英語の場合は800ワード程度)※2部提出

日本語または英語で次の内容を中心にまとめてください。1.大学院志望理由 2.これまでの学習・研究実績 3.希望する研究の内容・進路希望

⑤[出願資格A②③に該当する者のみ]

A②の場合:特定非営利活動法人日本経済学教育協会が実施する経済学検定試験(ERE試験、EREマイクロ・マクロ試験)の成績通知書または成績証明書

A③の場合:国税庁が発行する税理士試験の一部科目に合格していることを証明する書類

[A②、A③いずれの場合も通知書または証明書原本を提出すること。原本の返却を希望する場合は、出願の際、原本返却希望の旨の文書と返信用封筒を同封してください。]

⑥[外国籍の者のみ]志願者調書(所定様式8-①②③)

(5) 指導教授の選択について

研究者コース・税理士コースの志願者は、志願票の指導教授欄には入学後に指導教員として希望する教員の氏名を記入してください。高度職業人コースの志願者は、指導教授欄は空欄で提出してください。また、高度職業人コースの志願者については、10ページの「(6)高度職業人コース入学後の希望分野・分析手法一覧」を確認して、志願票を作成してください。

(6) 高度職業人コース入学後の希望分野・分析手法一覧

高度職業人コースの志願者は、入学後に希望する分野および分析手法を選択し、志願票の「入学後の研究テーマ」欄に記入してください。記入の際は、必ず「分野」と「分析手法」の両方を記入してください。

分野 分析手法	分析手法						
	理論分析	計量分析 (統計データ)	歴史分析 (経済史・経済学史・社会思想史)	実験 (実験室・フィールド・自然)	質的研究手法 (事例研究)	制度的分析 (政策評価・国際比較)	エリアスタディーズ
経済理論(マルクス経済学)、現代資本主義分析	◎	○			○	○	
マクロ経済学、経済成長、景気循環	◎	○					
一般均衡理論、ミクロ経済学	◎						
経済統計学、ミクロデータ分析		◎					
企業会計	◎				○	◎	
会計学、マクロ会計学、環境会計論、森林資源会計、地域を対象とした会計	◎				◎		◎
国際経済学、貿易政策、貿易と環境	◎	○			○	○	
開発経済学、国際経済学		◎			◎	◎	○
中国経済		○	○		○	○	○
西洋経済史、西洋思想			◎				
社会思想史・政治思想史・ジェンダー論	○		◎		○	○	
社会思想史、経済思想史、政治経済学			◎			○	
イギリス経済学説史	○		◎			○	
社会政策・社会保障論			◎			○	
交通経済学、公益事業論		◎			◎	◎	
公共経済学、交通・情報通信分野の規制・競争政策	○	◎				◎	
環境経済学、環境政策		○			◎	◎	◎
ゲーム理論 組織や制度の経済学	◎			◎		○	
労働経済学		◎			○	○	
労使関係論、人事労務管理論					◎		
財政学、地方財政論、租税論		○				○	
経済地理学	○			○	◎	◎	
人口論、人口統計学	○	◎			○	○	◎

志願票への記載例

例①

入学後の研究テーマ
※記入必須 経済理論 (マルクス経済学) 計量分析

例②

入学後の研究テーマ
※記入必須 公共経済学 制度的分析

(7) 学部学生の大学院授業科目履修について

経済学研究科では、本学学部の在籍学生で、本研究科への進学を志望する特に優秀な者について、その能力の高度な発展を期し、早期に大学院教育に接する機会を提供するため、教育上の特別措置として大学院授業科目の履修を認めています。本制度についての詳細は、大学院事務室までお問い合わせください。

3. 商学研究科

(1) 募集および入試日程

【博士前期課程】

専攻	コース	募集人員	出願期間	口述試験	最終合格発表
商学	研究	若干人	4月3日(水)～4月4日(木)	4月17日(水)	4月22日(月)
	ビジネス				

※志願状況等により、変更が生じる場合があります。

(2) 選考方法

書類審査および口述試験

出願理由書、研究計画書等を資料とする試験です。研究コースは 60 分、ビジネスコースは 30 分の口述試験になります。

(3) 選考基準

書類審査および口述試験の結果を総合的に勘案して判定します。

(4) 出願資格

本学学部卒業見込みの者で、次のいずれかの条件を満たしている者

- ①前年度までのGPAが 2.8 以上の者
- ②学習意欲が高く、研究活動が顕著なもので、かつ指導を希望する教員からの推薦がある者
- ③公認会計士試験短答試験に合格した者
- ④税理士試験の「簿記論」または「財務諸表論」に合格した者
- ⑤上記③④以外の国家試験のうち、本研究科の教育を受けるにふさわしい試験に合格した者

(5) 出願書類

- ①特別選考入学試験 志願票および写真票(所定様式1、2)
- ②成績証明書
- ③出願理由書(所定様式4 800 字程度)※4部提出
- ④研究計画書(所定様式3 研究コース…4,000 字程度、ビジネスコース…2,000 字程度)※4部提出
- ⑤[出願資格②に該当する者のみ]推薦書(所定様式6)
- ⑥[出願資格③④⑤に該当する者のみ]公認会計士、税理士、もしくはその他本研究科の教育を受けるにふさわしい国家試験の結果を証明する書類
〔証明書原本を提出すること。原本の返却を希望する場合は、出願の際、原本返却希望の旨の文書と返信用封筒を同封してください。〕
- ⑦[外国籍の者のみ]志願者調書(所定様式8-①②③)
- ⑧外国語能力に関する証明書(TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test(TOEIC Speaking & Writing Testを除く)、TOEIC IP テスト(本学実施)、英検(実用英語技能検定試験)、IELTSの証明書原本(コピー不可、出願時より3年以内の受験・取得有効))。
※TOEIC に限り、2023 年度以降に実施された試験については、公式スコア(公式認定証)の原本(コピー不可)またはオンライン上のデジタル公式認定証を印刷したものを提出すること。
※TOEFL iBT Special Home Edition のスコアの提出は認めません。

(6) 指導教授の選択について

- ・研究コースの志願者は、志願票の指導教授欄には入学後に指導教員として希望する教員の氏名を記入してください。
- ・ビジネスコースの志願者については、入学後に専攻する主分野を第一希望指導教授欄に記入してください。主分野は「経営学」「会計学」「商業学」「経済学」「金融学」の5つの中から1つを選択してください。

(7) 学部学生の大学院授業科目履修について

商学研究科では、本学学部の在籍学生で、本研究科への進学を志望する特に優秀な者について、その能力の高度な発展を期し、早期に大学院教育に接する機会を提供するため、教育上の特別措置として大学院授業科目の履修を認めています。本制度についての詳細は、大学院事務室までお問い合わせください。

4. 文学研究科

(1) 募集および入試日程

【博士前期課程】

専攻	募集人員	出願期間	口述試験	最終合格発表
国文学 英文学 独文学 仏文学(文学文化コース・美術史コース) 中国言語文化 日本史学 東洋史学 西洋史学 哲学 社会学 社会情報学 教育学 心理学(心理学コース・臨床心理学コース)	若干人	4月3日(水)～4月4日(木)	4月18日(木) ※予備日4月17日(水)	4月23日(火)

※志願状況等により、口述試験の実施日が予備日になることがあります。

(2) 選考方法

書類審査(学業成績と研究計画書)および口述試験の結果を総合的に勘案して判定します。なお、口述試験は多摩キャンパスにて実施します。

(3) 出願資格

- A. 本学学部の4年次に在籍する卒業見込みの学生(編入学生を含む)で3年次終了時のGPAが3.0以上の者。
但し、認定留学生または交換留学生として留学したため5年次以上に在籍する者は、帰国日から1年以内に限り出願を認める。
- B. 本学学部の3年次に在籍する早期卒業制度利用予定の学生。

(4) 出願書類

- ①特別選考入学試験 志願票および写真票(所定様式1、2)
- ②3年次までの成績証明書
- ③研究計画書(所定様式3 2,000字から4,000字程度、英語の場合は1,600ワード程度)※2部提出
- ④出願理由書(所定様式4 800字～)大学院進学の原因を、現時点で考えている将来の進路に関連付けて記載してください。※2部提出
- ⑤[出願資格Bに該当する者のみ]在籍する本学学部の専任教員による推薦書(任意書式)
- ⑥[外国籍の者のみ]志願者調書(所定様式8-①②③)

(5) 学部学生の大学院授業科目履修について

文学研究科では、本学学部の在籍学生で、本研究科への進学を志望する特に優秀な者について、その能力の高度な発展を期し、早期に大学院教育に接する機会を提供するため、教育上の特別措置として大学院授業科目の履修を認めています。本制度についての詳細は、大学院事務室までお問い合わせください。

5. 総合政策研究科

(1) 募集および入試日程

【博士前期課程】

専攻	募集人員	出願期間	口述試験	最終合格発表
総合政策	若干人	4月3日(水)～4月4日(木)	4月19日(金)	4月24日(水)

※志願状況等により、変更が生じる場合があります。

(2) 選考方法

提出された出願書類に基づく書類審査および口述試験の結果を総合的に勘案して判定します。

(3) 出願資格

本学学部卒業見込みの者で、次のいずれかの基準を満たす者

- A. 4年次に在籍する者(認定留学生または交換留学生として留学した者は5年次生も可)で、前年度までのGPAが3.0以上の者
- B. 3年次まで(認定留学生または交換留学生として留学した者は4年次まで)の教育・研究活動が顕著な者で、かつ指導を希望する教員からの推薦がある者
- C. TOEFL iBT の取得スコアが100点以上の者(TOEFL PBT の場合は600点以上の者。TOEFL ITP での出願は不可。いずれも出願締切日以前2年以内の取得有効)
※TOEFL iBT Special Home Edition のスコアの提出は認めません。
- D. 国家試験等の実績に照らして、①と同等の学力を有すると認められる者
- E. 3年次に在籍する者で、早期卒業候補者として認められている者

(4) 出願書類

- ①特別選考入学試験 志願票および写真票(所定様式1、2)
- ②成績証明書
- ③研究計画書(所定様式3 4,000字程度)※2部提出
次の事項を順番に記載すること(図表や写真使用可)。
 1. 研究テーマについての説明、2. 研究方法について、3. 1年目の研究計画について、
 4. 2年目の研究計画について
- ④出願資格Aの留学した者に該当する場合は、留学を証明する書類
- ⑤出願資格Bに該当する者は、活動実績書(所定様式5)および推薦書(所定様式7)
- ⑥出願資格Cに該当する者は、公式スコア(公式認定証)
(原本を提出すること。原本の返却を希望する場合は、出願の際、原本返却希望の旨の文書と返信用封筒を同封してください。)
- ⑦出願資格Dに該当する者は、国家試験等の実績を証明する書類
- ⑧[外国籍の者のみ]志願者調書(所定様式8-①②③)

(5) 学部学生の大学院授業科目履修について

総合政策研究科では、本学学部の在籍学生で、本研究科への進学を志望する特に優秀な者について、その能力の高度な発展を期し、早期に大学院教育に接する機会を提供するため、教育上の特別措置として大学院授業科目の履修を認めています。本制度についての詳細は、大学院事務室までお問い合わせください。

IV 出願書類の準備・作成上の注意

- 出願の際に提出した書類・資料の記載情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、受験を無効とする場合があります。その場合も出願書類及び入学検定料は返還しません。
- 出願書類に不備がある場合は、受け付けられないことがあります。出願に必要な書類すべてを揃えて出願期間内に提出してください。また、出願書類に不備があった場合には、本人または証明書等の発行先に問い合わせることがあります。
- 出願書類(所定様式および出願用封筒ラベル)は、本学 Web サイトからダウンロードのうえ、印刷してください。
- 記入にあたっては、手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを用いて明確に記入してください。なお、消すことのできるペン(フリクションペン)は使用しないでください。直接、電子データ上で入力できる様式(志願票、写真票)については、なるべく必要事項をデータ入力のうえ、プリントアウトしてください(正常に入力ができない場合などは手書きでも構いません)。
- 提出書類が複数部指定されている場合は、原本一部を含んだ部数(コピー可)を提出してください(論文は全部コピー可)。
- 一度提出した出願書類は、返却しません。ご自身の控えが必要な出願書類は必ずコピーをとって提出してください。
- 証明書類で原本の返却を希望するものがある場合は、出願の際、証明書類原本返却願(所定様式9)と返信用の「レターパックプラス」(返送先住所等を記入)を同封してください。後日、返却の求めがあっても応じることができませんのでご注意ください。

1. 志願票の記入について

- ①PDF内に入力が可能なフォームがありますので、原則として、PCで入力のうえ印刷してください。
- ②出願後、志願する研究科・専攻・課程・コース・受験科目・入試方式は変更できません。
- ③コースは、経済学研究科博士前期課程(研究者コース・税理士コース・高度職業人コース)、商学研究科博士前期課程(研究コース・ビジネスコース)、文学研究科博士前期課程(文学専攻(文学文化コース・美術史コース)および心理学専攻(心理学コース・臨床心理学コース)のみ記入してください。これ以外の場合は、空欄で構いません。
- ④氏名欄は、外国籍で漢字使用圏出身(中国籍など)の方は、漢字で記入してください(繁体字、簡体字の場合は、相当する日本語の漢字を使用してください。相当する日本語の漢字がない場合は、カタカナで記入してください)。英字氏名欄はパスポートの表記(日本国籍の方は、ヘボン式のローマ字表記)のとおり記入してください。
- ⑤顔写真貼付欄は、縦4cm×横3cmに切り取った証明写真を貼付してください。また、「写真票」に貼付する写真と同一のものを貼付してください。
- ⑥出身大学・大学院が複数の場合は、最終出身大学・大学院を記入してください。ただし、中央大学出身者は、中央大学の学部・大学院を記入してください。
- ⑦学籍番号欄は、出願時に中央大学に在学中の者のみ記入してください。それ以外の方は空欄で構いません。
- ⑧「希望指導教授」欄は、研究科別の「2024 年度教員一覧」(別紙 PDF ファイル)を参考に、第2希望まで記入してください。研究分野により、第2希望がない場合は「なし」と記入してください。なお、次の教員は指導教授に希望できません。a.他専攻・他研究科教員、b.兼任教員(客員教授、客員講師、兼任講師)、c.2025 年度休講予定の教員。
ただし、経済学研究科博士前期課程の高度職業人コースについては、「希望指導教授」欄は空欄で提出してください。
商学研究科博士前期課程では、研究コースの志願者は第2希望欄も必ず記入してください。ビジネスコースの志願者は、希望指導教授の氏名ではなく、入学後に専攻する主分野を「経営学」「会計学」「商業学」「経済学」「金融学」の5つの中から1つを選択して第一希望指導教授欄に記入してください。
- ⑨住所・電話番号は、志願者本人と常時確実に連絡の取れる住所・電話番号を記入してください。住所は、受験票および合否通知等の郵送先となりますので、郵便物を確実に受領できる日本国内の住所(日本国外に在住の者は、日本国内在住の代理人住所)を記入してください。出願書類の提出後に住所が変更となった場合は、変更後の住所をすみやかに大学院事務室へ連絡してください。電話番号は可能な限り携帯電話番号を記入してください。メールアドレスは常時確認できるものを記入してください。出願書類の問い合わせや緊急の連絡に使用します。「@g.chuo-u.ac.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定してください。
- ⑩入学検定料を納入し、収納証明書を収納証明書貼付欄に貼付してください。入学検定料の納入方法は 14 ページ以降を参照してください。
- ⑪個人情報の取扱いに関する同意及び重要確認事項に関する同意の☑欄の2つに☑がされているか必ず確認してください。
- ⑫入学検定料収納証明書貼付欄には、所定の収納証明書を貼付してください。(コンビニエンスストアで入学検定料を納入した場合は、店舗で受け取った収納証明書を貼付してください。クレジットカードで入学検定料を納入した場合は、印刷した収納証明書を貼付してください。決済受付画面の印刷ではありませんのでご注意ください。)
- ⑬法学研究科については、入学後の研究分野は、原則として入学後に変更できません。「入学後の研究テーマ」欄は、入学後に研究したいテーマ・領域を具体的に記入してください(例:商法の消費者契約法を中心に研究したい場合「商法(消費者契約法)」と記入)。
- ⑭法学研究科については、受験科目の欄に提出した外国語能力を証明する書類における外国語を「〇〇語免除」と記入してください。

2. 写真票の記入について

- ①PDF内に入力が可能なフォームがありますので、原則として、PCで入力の上印刷してください。
- ②顔写真貼付欄に、縦4cm×横3cmの大きさを、出願以前3か月以内に撮影した正面・無帽・無背景のカラー証明写真を貼付してください。写真裏面には氏名を記入してください。携帯電話、スマートフォン等で撮影した画像による写真は左右が反転する場合があるため、不可とします。必ず証明写真としてください。貼付した写真は、入学後の学生証顔写真としても使用します。在学中の変更はできません。「志願票」の顔写真貼付欄と同一の写真を貼付してください。

3. 卒業・修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書について

- ①証明書は出願資格を証明する原本(出身学校が発行し、証明した書面)を提出してください。証明書は、日本語また英語で作成された原本とします。それ以外の言語の場合は、日本語または英語による訳文を付けてください。
- ②中央大学を含む複数の学部・大学院を卒業・修了している場合(卒業・修了見込の場合を含む)は、出願資格を証明する書類に加えて、中央大学の証明書も提出してください。
- ③博士前期課程に出願する者で、すでに他大学の博士前期・修士課程を修了している場合は、学部の証明書に加えて大学院の証明書も提出してください。
- ④複数の出願をする場合は、出願ごとにそれぞれ提出してください。
- ⑤学位授与機構で学士学位取得の場合は、卒業・成績証明書に準ずる証明書を提出してください。
- ⑥早期卒業・修了見込等により出願時に証明書を提出できない場合は、出願期間前に大学院事務室に問い合わせてください。
- ⑦なお、原本の返却を希望する場合は、出願の際、証明書類原本返却願(所定様式9)と返信用の「レターパックプラス」(返送先住所等を記入)を同封してください。

4. 外国語能力(英語等)に関する証明書類について

- ①所定の外国語能力に関する試験の受験結果を提出してください。必ず公式スコア(公式認定証)または証明書、結果通知書の原本を提出してください。インターネットでダウンロードし、志願者本人がプリントアウトしたものは不可。
※TOEICに限り、2023 年度以降に実施された試験については、公式スコア(公式認定証)の原本(コピー不可)またはオンライン上のデジタル公式認定証を印刷したものとします。
- ②試験実施機関からの直送制度を利用せず、その他の出願書類とともに出願期間内に提出してください。証明書類の取得に時間を要することが予想されますので、早めに手続きをして出願期間に間に合うよう準備してください。
- ③証明書類の原本の返却を希望する場合は、出願の際、証明書類原本返却願(所定様式9)と返信用の「レターパックプラス」(返送先住所等を記入)を同封してください。

5. 志願者調書について ※外国籍の者のみ

- ①本人氏名は、パスポートに記載された氏名を記入してください。それ以外の氏名(日本で使用している漢字氏名等)がある者は「上記以外の表記」の欄に記入してください。フリガナは、日本式での読み方・母語の発音での読み方のどちらを記入しても構いません。
- ②「在留資格」は、受験時における在留資格を記載してください。
- ③「国内連絡先」の欄には、受験時に日本国内に在住している者(外国籍でも可)で、志願者本人のことをよく知っており、常に連絡がとれる者を記載してください。
- ④出願の時点で国費留学生、あるいは研究生である者は、「現職」の欄の所定箇所にチェックを入れてください。
- ⑤「経費支弁に関する事項」は、中央大学入学した場合に在籍中の1年あたりに必要な学費・生活費等のすべての費用をどのように準備するかについて、記入してください。
- ⑥決められた位置に在留カード(または特別永住者証明書)のコピーおよびパスポートのコピーを貼ってください。

6. その他

- ①経済学研究科および文学研究科心理学専攻、総合政策研究科の志願者については、出願前に希望する指導教授と可能な限り連絡を取り、研究指導分野を確認してください。

V 入学検定料の納入について

- ①入学検定料は、1出願につき 35,000 円です。入学検定料のほか事務手数料がかかります。
- ②入学検定料の納入方法は、コンビニエンスストア支払いとクレジットカード決済があります。金融機関窓口、インターネットバンキング、ATMでの納入はできません。詳細は、次ページ以降の入学検定料納入方法にしたがってください。
- ③コンビニエンスストア支払いを選択した場合は、コンビニエンスストアで支払い後に受領する「収納証明書」を志願票の所定欄に貼付してください。
クレジットカード決済を選択した場合は、決済時にオンライン上で発行される「収納証明書」をプリントアウトのうえ志願票の所定欄に貼付してください。ボタンの二度押しによる二重払いに注意してください。
- ④入学検定料の納入期間は、出願期間開始日の2日前から出願期間最終日までとなります。

【入学検定料の返還について】

一度支払われた入学検定料は、原則として返還しません。ただし、以下(返還請求対象)のいずれかに該当し、返還を行った場合は、入学検定料を返還します(支払手数料は返還対象外)。

<返還請求対象>

1. 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
(二重払いなど誤って多くの入学検定料を納入した場合の超過分を含む)
2. 入学検定料を支払ったが、出願期間後に出願書類を提出した。
3. 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格が欠くなどの理由、そのほか本学の判断により、出願が受理されなかった。

※出願が成立している入学試験の入学検定料は一切返還できません。また、上記以外の事由による入学検定料の返還は一切行いません。

<返還手続>

大学院事務室まで、速やかにご連絡ください。返還手続きについてご案内します。

<注意事項>

1. 入学検定料の返還には1ヵ月以上を要する場合がありますので予めご了承ください。
2. 入学検定料の返金先口座は志願者本人の口座とします。また、原則、日本国内の銀行口座への返金とします。
3. 返金振込日に関する個別のお知らせは行いませんので、ご自身で振込先口座の入金状況を確認してください。

※出願資格について、ご不明な点がある場合には、出願期間前(入学検定料納入前)の早い時期に大学院事務室にお問い合わせください。

中央大学大学院 クレジットカードでの入学検定料納入方法

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。






1 Web申込みからクレジットカード決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



- | | |
|--------------------|---|
| 1. お支払先選択 | 受験料・選考料のお支払い「大学院」を選択。 |
| 2. 学校選択 | 学校名「中央大学大学院」を選択。 |
| 3. 学校案内 | 案内事項と「利用規約および個人情報の取扱い」の内容を確認し、「同意する」をクリック。 |
| 4. カテゴリ選択 | 第1～第4選択を選び、「次へ」をクリック。 |
| 5. 基本情報入力 | 志願者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法(クレジットカード)を選択し、「次へ」をクリック。 |
| 6. カード情報入力 | 支払いに利用するカード番号等を入力してください。
お支払いされるカードの名義人は志願者本人でなくても構いません。 |
| 7. お支払い内容確認 | 入力内容が表示されますので、よろしければ「申込みを確定する」をクリック。
クリックは一度だけ、即時決済されます。 <u>ボタンの二度押しによる二重払いに注意してください。</u> |
| 8. 確定
[カード決済完了] | 【受付番号】を控えてください。
E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷し、入学志願票の所定欄に貼る。 |

2
出願

☆事務手数料

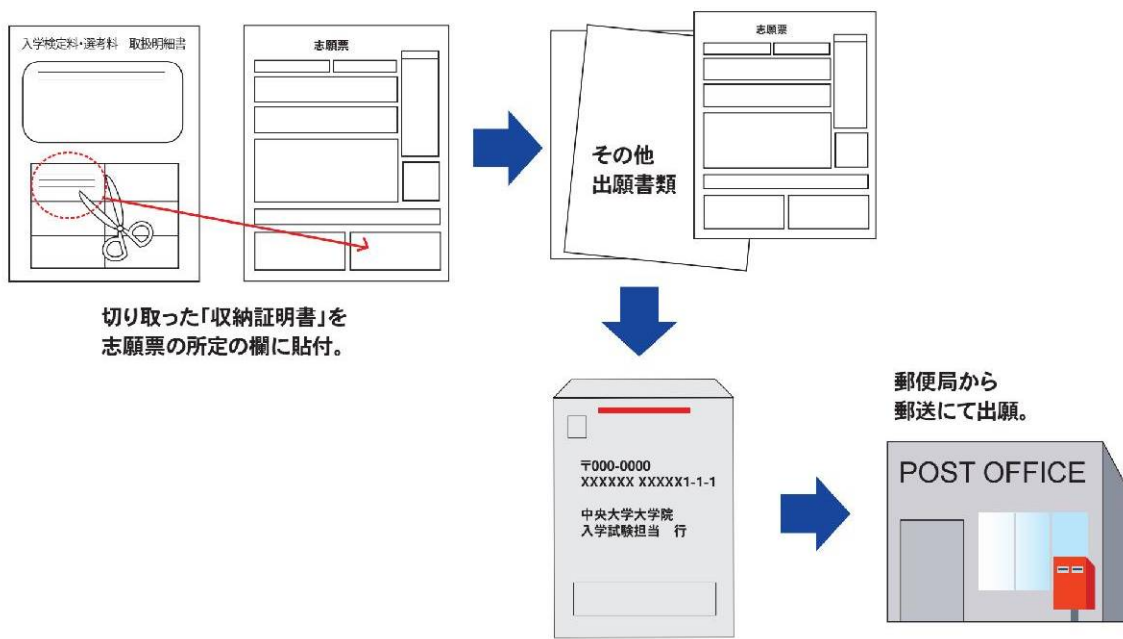
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。(全クレジットカード共通)

1出願 (35,000円につき)	950円(消費税込)
------------------	------------

※事務手数料は変更になる場合があります。

☆出願方法

印刷した収納証明書を貼付した志願票とその他出願書類を、出願用封筒に入れ出願。



☆お支払いに関する注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:00までにカード決済を完了させてください。ただし、出願書類は出願期間内に郵送してください(締切日郵便局消印有効)。
- クレジットカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。ただし、基本情報入力画面では、必ず志願者本人の情報を入力してください。
- 一度お支払いされた入学検定料は一切返金できません。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

☆出願書類の提出

志願票の記入、入学検定料の支払い、収納証明書の貼付が完了しましたら、その他出願書類とともに中央大学大学院事務室まで郵送してください。

☆クレジットカードでの入学検定料納入期間

クレジットカードでの入学検定料納入期間は、出願期間開始日の2日前から出願期間最終日までとします。

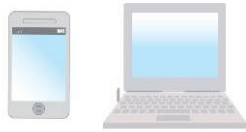
お支払いについてのお問い合わせは…<https://e-shiharai.net/>

中央大学大学院 コンビニエンスストアでの入学検定料納入方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン・イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で
24 時間いつでもお支払いが可能です。

1 Webで事前申込み

当学HP
からも
アクセス
できます！



画面の指示に従って必要事項を入力し、
お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>



- ①「トップページ」から **受験料・選考料のお支払い 大学院** を選択
- ②「学校選択」で **中央大学大学院** を選択
- ③「学校案内」で案内事項と「個人情報の取扱い」の内容を確認し **同意する** を押す
- ④「カテゴリ選択」で、入試種別を選択
- ⑤「基本情報入力」では、志願者本人の基本情報を入力する。お支払い方法(支払コンビニ)を選択し、**次へ**
- ⑥「お支払い内容確認」で、入力内容に間違いがなければ、**申込みを確定する**
- ⑦「確定」画面に通知された[番号]と[お支払期限]をメモしてコンビニへ

2 コンビニでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。



3 出 願

☆事務手数料

- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。(全コンビニ共通)

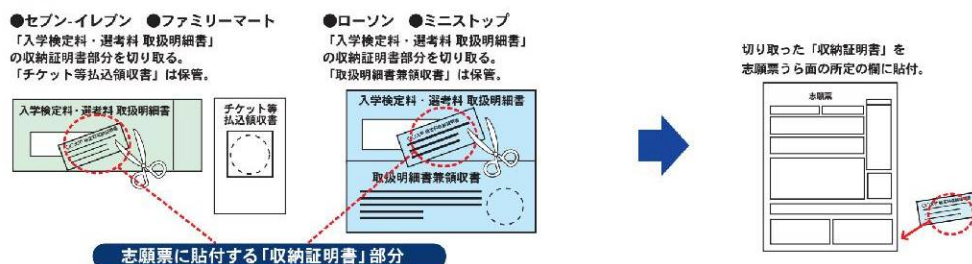
1出願 (35,000円につき)	500円(消費税込)
------------------	------------

※事務手数料は変更になる場合があります。

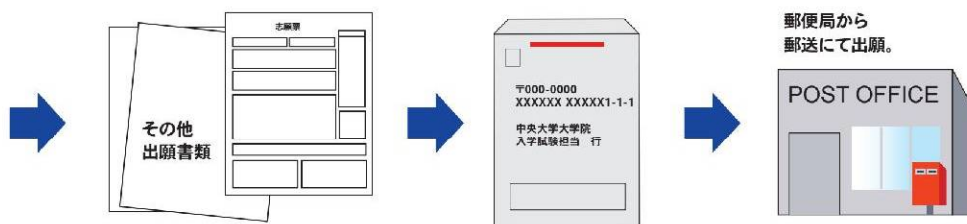
☆出願方法

- ①「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、志願票の所定欄に貼る。

*「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



- ②志願票とその他出願書類を出願用封筒に入れ出願。



☆お支払いに関する注意事項

- 支払期限内に代金を支払わなかった場合は、入力情報が自動的にキャンセルされますので、再度Web申込みよりお手続きください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。ただし、出願書類は出願期間内に郵送してください(締切日郵便局消印有効)。
- 入学検定料はATMでは納入できません。必ずレジでお支払いください。
- 「収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニエンスストア払込時には収納印は不要です)
- 一度お支払いされた入学検定料は、店頭では一切返金できませんのでご注意ください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。
- 出願期間を入学試験要項でご確認のうえ、出願締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

☆出願書類の提出

- 志願票の記入、入学検定料の支払い、収納証明書の貼付が完了しましたら、その他出願書類とともに中央大学大学院事務室まで郵送してください。

☆コンビニエンスストアでの入学検定料納入期間

- コンビニエンスストアでの入学検定料納入期間は、出願期間開始日の2日前から出願期間最終日までとします。

お支払いについてのお問い合わせは…<https://e-shiharai.net/>
(コンビニエンスストア店頭ではお答えできません)

VI 出願

1. 出願書類の送付方法

- ①入学検定料を納入後、出願書類を出願用封筒(市販の角形2号封筒に出願用封筒ラベルを貼付)に折り曲げずに入れ、出願期間内に提出してください。所定様式および出願用封筒ラベルは、本学ホームページからダウンロードのうえ、印刷してください。入学検定料は前項を参照のうえ納入してください。
- ②出願の手続きは郵送での受付とします。速達・簡易書留郵便とし、出願期間最終日郵便局消印有効とします。

<送付先>

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1 中央大学大学院事務室

※法学研究科に出願する場合も、上記送付先へ送付してください。茗荷谷キャンパスの窓口では出願書類を受付できません。

※日本国外から出願する場合は、出願用封筒ラベルに記載された宛先を国際宅配業者(EMS 等、追跡可能であること)のラベルに転記のうえ、送付してください(出願期間最終日必着)。また出願前に予め、大学院事務室までご連絡ください。

※受験にあたり、受験許可証が必要な場合はその旨を記した任意の書面を同封してください。

2. 個人情報の取り扱い

以下の事項を確認し、同意のうえ、志願票の所定欄に☑を入れてください。

中央大学は、出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所、その他の個人情報については「中央大学個人情報保護規程」、「中央大学個人情報保護方針」に基づき細心の注意を払って取り扱い、①入学試験実施(出願処理・選考実施)、②合格発表、③入学手続、④各種統計処理を行うために利用します。

また、上記利用目的のために、個人情報の一部の取扱いを、個人情報の取扱いに関する契約を締結したうえで外部業者に委託することがあります。

3. 受験および就学上の配慮について

身体等の障がいにより、受験および就学の際に特別な配慮が必要な場合には、出願期間前(入学検定料納入前)のなるべく早い時期に大学院事務室にお問い合わせください。また、出願後に大きな病気や怪我により、特別な配慮が必要となった場合にも、直ちにご連絡ください。

VII 受験

1. 受験票について

- ① 受験票等は、簡易書留郵便で志願票記載の日本国内の住所に郵送します。日本国外からの出願の場合には、日本国内在住の代理人宛に郵送します。
- ② 受験票を受け取り後、受験する入試方式（本入試要項に掲載の入試方式はすべて「特別選考入学試験」と記載します）、研究科・課程、受験科目、氏名など受験票記載内容に誤りがないか、必ず確認してください。出願した内容と記載が異なる場合には早急に大学院事務室まで問い合わせてください。
- ③ 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- ④ 受験票が試験日の1週間前までに届かない場合は、大学院事務室に問い合わせてください。
- ⑤ 受験票は、入学時まで紛失しないよう大切に保管してください。

受験許可証について（外国人留学生の方）

受験にあたって日本国外から日本へ入国する際は、原則として各人が短期滞在ビザ等を個人の責任で取得して、入国していただくこととなります。ビザ申請のために「受験許可証」を必要とする方は、出願書類に受験許可証の交付を希望する旨を記載した書面を同封してください。日本国内の連絡先宛に受験許可証を送付します。

2. 試験の実施について

口述試験は以下のキャンパスで実施予定です。受験者集合場所、試験の予定時刻は、受験者に個別にお知らせします。

研究科	実施キャンパス
法学	茗荷谷キャンパス
経済学・商学・文学・総合政策	多摩キャンパス

3. 受験上の注意

- ① 口述試験の試験開始時刻の15分前までに集合してください。キャンパスは8時以前には入構できません。
- ② キャンパスへは、公共交通機関を利用してお越しください。原則として自動車での入構はできません。
- ③ 携帯電話等の通信機器は、試験室入室前にアラーム等の設定を解除したうえで身につけず、電源を切ってカバンにしまってください。アラームは設定を解除しないと、電源を切っても作動する場合がありますので十分に注意してください。
- ④ 試験時間中にカバン等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、監督者等が本人の了解を得ずに、カバン等を試験室外に持ち出し、試験会場本部等で当該試験時間終了まで保管することがあります。
- ⑤ 試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関を受診し、医師の判断に従って受験してください。
- ⑥ 試験中、体調不良等を感じた場合は、監督者に申し出てください。
- ⑦ 次のことをすると不正行為とすることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験も無効となります。
 - (a) カンニング(カンニングペーパーを見ることなど)をすること。
 - (b) 試験時間中に携帯電話等を身につけていること。
 - (c) 試験時間中に携帯電話、時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
 - (d) 他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (e) 監督者等の指示に従わないこと。
 - (f) 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - (g) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- ⑧ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者は原則として受験はできません(入学検定料の返還もできません)。

- ⑨自然災害や不測の事態、感染症の蔓延等により、所定の日程のとおりに入學試験等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験の延期または中止、試験会場の変更等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。これらの対応措置を講じる場合は中央大学 Web サイト(<http://www.chuo-u.ac.jp>)に掲載しますので、確認してください。

Ⅷ 合格発表と入学手続

1. 合格発表

合格発表日の午前 11 時までに本学 Web サイトで合格者を発表します。

＜本学 Web サイト上での発表＞

ホーム→中央大学で学びたい方→入学を考えたい方(入試情報):大学院入試情報

(<https://www.chuo-u.ac.jp/admission/gschool/>)



また、合格者に対しては速達・簡易書留郵便で発送しますので、郵便物でも必ず結果を確認してください(到着は合格発表日から数日かかります)。配達時に不在だった場合は、郵便局の不在連絡票にしたがい、必ず再配達を依頼し受領してください。最終合格者には合格書を送付します。

※電話による問い合わせは、間違いが生じやすいので一切応じません。また、試験結果等に関する問い合わせにも一切応じません。合格者への通知、入学手続書類の受領の遅延・不着を理由とした入学手続期限以降の入学手続等は認めません。

2. 入学手続

(1)入学手続書類の送付について

入学手続書類は、1月上旬に送付します。

(2)入学手続について

お送りする「入学手続要項」を参照して必要な手続を行ってください。学費等の振込は、日本国内の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)からの振込となります。

入学手続は、以下のとおり、2段階に分けて行います。

※入学手続書類の受領の遅延・不着を理由とした入学手続期限以降の入学手続等は認めません。

①入学申込手続(A手続)

入学金相当額の入学申込手続金を下記の所定の期限までに納入し、所定の手続書類を提出してください。入学申込手続金は、入学完了手続を完了した場合は、入学金に充当します。

入学申込手続 (A手続)期限	2025年2月20日(月)
-------------------	---------------

②入学完了手続(B手続)

入学完了手続金を所定の期限までに納入し、所定の手続書類を提出してください。

入学完了手続 (B手続)期限	2025年3月7日(金)
-------------------	--------------

(3)外国人留学生の方へ

保証人について

保証人は、出願時には必要ありませんが、入学手続き時には必要となります。なお、保証人は、日本に居住し、独立し生計を営んでいる日本人または外国人で、在学期間中の留学生に関するすべての事項について保証できる者でなければなりません。ただし、日本在住の保証人を立てられない場合に限って、本国在住の父母を保証人とすることができます。その場合は、緊急時の連絡先として、本国の父母に連絡することができる日本在住の連絡者が必要となります。

在留手続きについて

入学者は、2025 年 4 月以降、原則「留学」の在留資格で在籍することになります。在留資格が「留学」以外（「家族滞在」、「定住者」、「永住者」、「日本人の配偶者等」等）の者は、大学入学のために在留資格を変更する必要はありません。ただし、外国人留学生対象の奨学金等の制度は、在留資格「留学」の学生を対象としています。

在留資格認定証明書交付申請については、日本に代理人がない場合は、本学が代理申請をします。詳細については、合格者に送付する入学手続き書類でご確認ください。

外国人留学生ガイダンスについて

外国人留学生を対象としたガイダンスを国際センターが 4 月上旬に実施する予定です。外国人留学生のための各種制度（在留手続・奨学金など）の説明および制度利用のために必要な提出物の説明をしますので必ず出席してください。詳細は入学手続申込者に通知します。

国際寮(Student dormitory)について

国際寮に住むことを希望する場合には、中央大学ホームページで国際寮の入居者募募集要項を確認してください。

・<http://www.chuo-u.ac.jp/international/dormitory/>

(4)安全保障輸出管理について

中央大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づき、「中央大学安全保障輸出管理規程」を定め、国外への貨物・技術の持ち出し、送付における管理や、海外との共同研究、外国人研究者・留学生の受け入れ等に関する対応を行っています。本学大学院の提供する教育・研究内容は、これら安全保障輸出管理の規制対象となる場合があります。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

※安全保障輸出管理の詳細については、経済産業省の安全保障貿易管理のウェブサイトを参照してください。

経済産業省 <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/>

Ⅸ 学費

学費については、中央大学 Web サイト「大学院学費一覧(2025 年度入試 受験生用)」をご参照ください。

特別選考入試を受験し入学される方	https://www.chuo-u.ac.jp/academics/fees/admission/gschool_new_student/
------------------	---

【学費に関するお問い合わせ先】

経理部経理課

電話 042-674-2172

お問い合わせフォーム <https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=127>

X 奨学金等

中央大学の大学院学生を対象とする現行の主な奨学金等とその概要は次のとおりです(2025 年度予定。年度により変更される場合があります)。

①中央大学大学院給付奨学金

特に学力または研究能力が優れている者を対象としています。

＜法学・経済学・商学・文学研究科＞

40 万円または 20 万円。

＜理工学・総合政策・国際情報研究科＞

50 万円または 25 万円。

②中央大学大学院指定試験奨学金

本大学院が指定する国家試験(国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験及び弁理士試験)の受験を志し、学力、研究能力及び人物ともに優れている者を対象としています。

給付額: 当該年度の在学料相当額または 1/2 相当額

③日本学生支援機構奨学金

貸与方式の奨学金制度で、人物・学力ともに優れ、経済的理由により修学が困難な者を対象としており、第一種(無利子)と第二種(有利子)があります。

貸 与 額	第一種	博士前期課程	月額 50,000 円または 88,000 円のどちらかを選択
		博士後期課程	月額 80,000 円または 122,000 円のどちらかを選択
	第二種	月額 5 万、8 万、10 万、13 万、15 万円の中から選択	

④大学院飯塚毅奨学金

法学研究科博士後期課程の 1 年次生を対象とする給付奨学金制度です。給付額: 25 万円

⑤長期留学支援奨学金

中央大学の長期留学(交換留学・ISEP・認定留学)を利用して留学する学生が出願できる返還不要の給付型奨学金です。選考により奨学生を決定します。詳細は、中央大学公式ウェブサイト(留学奨学金(HOME>国際連携・留学>留学について>留学奨学金))をご参照ください。

⑥中央大学外国人留学生奨学金

在留資格「留学」の学生のうち、特に学力が優れている者を対象としています。

※上記①～⑥の他にも地方公共団体の貸与奨学金や民間団体奨学金(給付・貸与)の募集があります。

各奨学金の出願資格、出願期間、手続方法など詳しい内容については下記にお問い合わせください。

奨学金の種類	問い合わせ先
①中央大学大学院給付奨学金 ②中央大学大学院指定試験奨学金 ④大学院飯塚毅奨学金	大学院事務室 電話:042-674-2613
③日本学生支援機構奨学金	奨学課 電話:042-674-3461
⑤中央大学長期留学支援奨学金 ⑥中央大学外国人留学生奨学金	国際センター 電話:042-674-2211

奨学金制度の他に、入学手続時に申し込むことができる民間金融機関との提携教育ローン制度があります。

詳細については、中央大学 Web サイト(学生サポート>奨学金>奨学金・教育ローン・貸付>教育ローン)をご参照ください。

→https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/scholarship/list/e_loan/



X I Q&A(よくある質問)

(1)出願資格関係

①複数の研究科を受験することができますか。

⇒試験の実施日が重複していなければ受験することは可能です。

(2)出願書類関係

①証明書類の原本は返却してもらえますか。

⇒返却は可能です。原本の返却を希望する場合は、出願の際、証明書類原本返却願(所定様式9)と返信用の「レターパックプラス」(返送先住所等を記入)を同封してください。なお、後日、返却希望の申し出があっても、返却できませんのでご注意ください。

②どれぐらいの期間で証明書類の原本を返却してもらえますか。

⇒出願書類が中央大学に届いてから1週間程度で発送します。

③証明書類を発行機関から直接、中央大学へ送ってもよいでしょうか。

⇒発行機関からの直送制度等は利用しないでください。必ずご自身でその他の出願書類とともに出願期間内に提出してください。

④オンラインで取得し、自分で印刷した証明書類での提出は可能ですか。

⇒原則として無効です。発行機関が書面で発行した証明書類を提出してください。ただし、TOEIC に限り、2023 年度以降に実施された試験については、公式スコア(公式認定証)の原本(コピー不可)またはオンライン上のデジタル公式認定証を印刷したものを提出してください。

(3)受験について

①受験票はいつ届きますか。

⇒試験日の1週間前までに郵送します。試験日の1週間前になっても届かない場合は、大学院事務室までお問い合わせください。

(4)合格発表・入学手続について

①合否結果はどのように確認できますか。

⇒本学 Web サイトに掲載し合格者を発表します。詳細は24 ページで確認してください。

また、合格者に対してのみ速達・簡易書留郵便で発送します(到着は合格発表日から数日かかります)。配達時に不在だった場合は、郵便局の不在連絡票にしたがい、必ず再配達を依頼し受領してください。

(5)その他

①出願前に指導希望の教員に連絡を取る必要がありますか。どのようにして連絡をとることができますか。

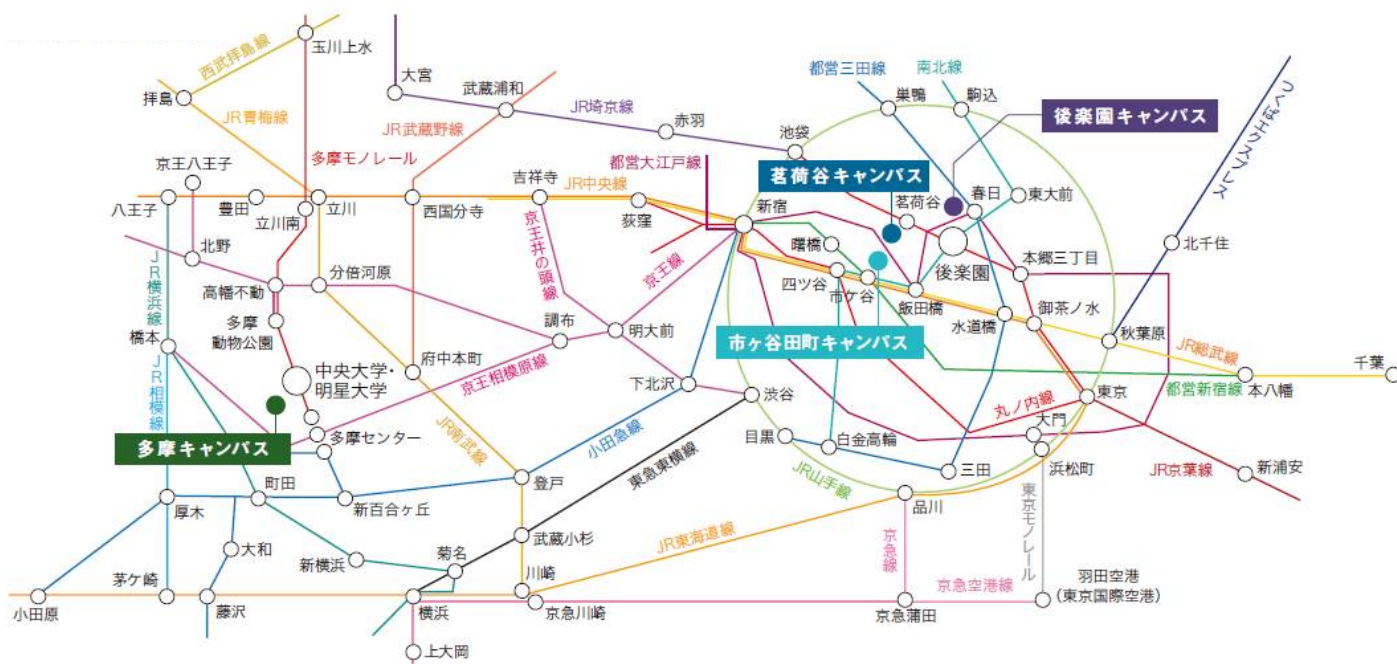
⇒必須ではありませんが、ご自身が指導を希望する研究分野と教員が指導可能な研究分野が一致しているかを確認するためにも、出願前の早い時期に連絡を取っていただくことを推奨します。なお、経済学研究科と文学研究科心理学専攻、総合政策研究科については、可能な限り連絡を取り、研究指導分野を確認してください。教員の連絡先(メールアドレス)については「教員紹介サイト」に掲載されている連絡先に問い合わせください。

②日本国外から出願することはできますか。

⇒日本国外からの出願は可能です。入学検定料はクレジットカード決済で納入することができます。ただし、受験票や合否結果の通知、入学手続き書類などの送付は日本国内のみになりますので、それらの書類の送付先となる日本国内居住の代理人住所を志願票に記載いただきます。

X II 交通アクセス

アクセスマップ



| 多摩キャンパス(経済学・商学・文学・総合政策研究科)

大学院事務室

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

- 多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』から徒歩 1 分
- 京王線『多摩動物公園駅』から徒歩約 10 分
- 小田急線・京王線『多摩センター駅』からバス約 12 分
- JR 中央線『豊田駅』からバス約 15 分

| 茗荷谷キャンパス(法学研究科)

大学院事務室法学研究科分室

〒112-8631 東京都文京区大塚 1-4-1

- 東京メトロ丸ノ内線『茗荷谷駅』から徒歩 1 分

2024 年 3 月 13 日

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学大学院事務局

☎ 042-674-2613

<http://www.chuo-u.ac.jp/>
